

ケアマネ みやざき



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.25
令和2年7月1日発行
発行責任者
担当理事 坂口和幸

「会長挨拶」

皆さま、こんにちは。本日はお忙しい中、また未だに新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがつかない中、総会にご出席いただきましてありがとうございます。

今回は異例づくめの総会となりました。本来ならできるだけ多くの皆さまに集まっていただくことに奔走するところですが、拡大予防の観点を重視し、いわゆる密接・密集・密閉の3密を回避すべく、今回は規模を縮小して開催させていただくことになりました。ギリギリまで本総会の開催を迷ったところですが、事業報告と事業決算について審議をいただくことが法人としての大切な務めであり、また今年は向こう2年間にわたり大切な事業を担当させていただく役員改選の時期とも重なりました。本日を迎えるまで会員の皆さま、事務局をはじめ、関係各位には大変なご苦勞をおかけする事になりましたが、ご尽力頂きました皆さまに深く感謝申し上げます。

皆さまご存知のように、新型コロナウイルス感染症はいまだに世界中で爆発的に流行し、第2波がすでに襲来しているところもあります。延期となった東京オリンピックも来年、確実に開催できるかも定かではありません。宮崎では、4月11日17例目の最終感染以降新たな感染はなく、幸い宮崎の感染者は全員無事に退院されました。しかしながら終息したわけではなく、安全宣言でないことに注意が必要です。

法定研修においても県との協議を頻回に行い、極力少人数にして、また会場を分散し、次年度へ受講を変更していただくなど、皆さま方にも大変なご協力をいただいたところであり、事務局はその連絡調整を實に見事に遂行してくれましたが、今なお悪戦苦闘しております。今年度はすでに離島を多くもつ沖縄などで実施されているOn Line研修やWeb会議など、ICTへの取り組みも急がなくてはならないと考えています。

コロナに関しては、今なお全世界で感染者が増え続け、コロナが原因で亡くなる人が後を絶ちません。多くの著名人も罹患され亡くなったことに驚かれた方も多いと存じます。今後第2波、3波が訪れ、秋口から冬季にはインフルエンザとの区別がつかないまま、ワクチンができるまでは大混乱が起これ、予断を許さない事態が待ち受けていると考えます。そしてその後はインフルエンザと同じように毎年ワクチン接種が必要になるかもしれません。そのような喧騒の中で業務を遂行しなければならない私たちは向こう一年、国の動きを注視して対応していかなければならないと考えます。

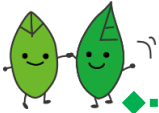
さて、前置きが長くなりましたが、本協会は平成20年設立後12年目となった令和元年度の事業計画で承認をいただいております「国家資格化シンポジウム」や「セラピストとの共同研修会」など大きな事業を展開できました。とくに国家資格化については本協会として大きな関心事であり、日本介護支援専門員協会との連携のもと、両与党国会議員の支援をいただきつつ、厚生労働省との協議を推進できているところです。令和2年度は事業を機能的・効率的に運用するため8部会17委員会に再編する一方で、2年後にわが宮崎県で開催することが決定している九州沖縄ブロック大会と全国大会の同時開催を成功裏に収めるための準備を推進すべく、「全国大会準備委員会」の設置を計画していることにもご注目いただきたいと存じます。

会員の皆さまの声を集約して日本介護支援専門員協会との連携のもと、居宅介護サービス計画作成やモニタリングなどの必要なケアマネジメント業務を行い、給付管理票の作成など、請求にあたって必要な書類の整備を行っていただければ、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際にサービス提供が行われなかった場合であっても請求は可能とする居宅介護支援費の取扱いまでごぎつけ、ややもすれば失われてしまいがちな報酬も、また更新できないために喪失しかねない資格についても、本協会や日本介護支援専門員協会の積極的な動きでいずれも現状維持が可能となりました。

本日はコロナ対策のため、できるだけ短い時間にて終了できますよう、ご協力のほど、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。
(令和2年6月7日 令和2年度総会挨拶より抜粋)



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷義秀



令和2年度宮崎県介護支援専門員協会総会



令和2年6月7日（日）にシーガイアコンベンションセンターにて、令和2年度宮崎県介護支援専門員協会総会が開催されました。総会当日の議決権は1,514名で、出席者35名、委任状860名、合計895名となり総会が成立しましたことをここにご報告いたします。

総会では、令和元年度事業報告及び収支決算について及び、新役員の選出について、審議がなされました。会員の皆様の承認を得てすべての議案が、承認されました。

新役員選出の承認をうけ、直ちに理事会が開催され、そこで牛谷会長をはじめとし、各担当理事が決定しました。新役員は次のページにてご紹介いたします。

また報告事項として、令和4年度に宮崎県にて開催が予定されています全国大会に向けて、宮崎県介護支援専門員協会内に「全国大会準備委員会」が設置され、委員長に坂本増美さんが就任されることが報告されました。

総会会場では、受付時での検温をはじめ、3密にならないような会場設営、出入り口の開放が行われ、コロナウイルス対策も万全に行われました。



令和元年度介護支援専門員実務研修及び更新研修報告



令和2年1月より開始された標記の研修でしたが、宮崎県内においてコロナウイルス感染者発生を受け、研修主催者である宮崎県とその都度協議を重ね、4月以降は大幅な研修日程及び会場の変更を行い研修を実施いたしました。研修では、事前の健康チェックシートの記入・提出の徹底3密を避けるための会場設営や衛生用品の配置などで感染拡大防止に努めました。受講人数にも制限を設け、受講者には研修日程変更のご協力をいただきました。

また、講師の皆さまにも同じ単元を1日3回行っていただいたり、2会場をリモートでつないで研修を行うなどのご協力をいただきました。

今後もまだ予断を許さない状況となっておりますが、この研修体制などを参考にしながらできる限り会員の皆さまの資質向上につながるような研修を実施できればと考えております。



新役員紹介

令和2年度総会での承認を得て、令和2年からの2年間の各役員が決定いたしましたので、各役員のご紹介をいたします。



会長

牛谷 義秀

会員の皆さまの御信任に応えられますよう、向こう2年間の会務の運営を全うすべく頑張る所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。



副会長

大峯 伸一

コロナウィルスのように予期せぬ事態の時こそ、皆様を守る組織でありたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



副会長

長友 あかね

包括業務と医療現場の経験を活かし、当協会の更なる充実と拡大が図れるよう力を尽くします。よろしくお願い致します。



延岡・西臼杵ブロック

友清 英一

利用者に寄り添い、介護支援専門員が働きやすく、誇りを持って活躍できる地域づくりを目標に精一杯努めます。



日向・東臼杵ブロック

黒木 千恵

感染症等、様々な状況下においても、利用者の継続的支援が出来るよう、新たな仕組み作りを皆様と共に構築していきたいと思ひます。



西都・児湯ブロック

緒方 清孝

コロナ禍で大変な時ではありますが、皆さまのお力添えになれるように頑張りますので、よろしくお願い致します。



宮崎・東諸県ブロック

今別府 大作

介護支援専門員の皆さんが、誇りを持って仕事できる環境を整えるために尽力してまいります。よろしくお願い致します。



日南・串間ブロック

長渡 史江

このたび日南・串間ブロック理事を務めさせていただきます。会員同士のつながりや魅力ある職種づくりができるように頑張ります。



都城・北諸県ブロック

常盤 由希子

行政・医療・介護の連携、地域課題解決への取組や、会員の皆様が活動しやすい地域づくりに貢献できるよう精一杯務めて参ります。



小林・えびの・西諸ブロック

山毛 徹

皆様のお役に立てるようにがんばります。至らないところが多々あると思いますが、よろしくお願い致します。



調査研究部

児浪 俊之

介護支援専門員の専門性がいかに発揮できる環境整備に努めてまいります。宜しくお願い致します。



研修企画部

大浦 栄子

更なる資質向上を目指し、専門性を磨き、会員の皆さまの自信に繋げていけるよう力を尽くして参ります。よろしくお願い致します。



資質向上部

長田 泰平

ケアマネジャーの皆さん、現在と将来のために、過去から学び、素晴らしい未来を、一緒に創っていきましょう！がんばります！



法定研修部

川崎 智志

法定研修が円滑で効果的な機会になるよう参画する。実務研修受講試験に挑む未来の介護支援専門員の力になれるよう取り組みます。



情報政策部

坂口 和幸

皆さんの活動をしっかりとお伝えできるよう、また災害時にも専門職として力が発揮できるよう尽力します。よろしくお願い致します。



介護保険部

日高 陽子

初めて理事の任を拝命しました。わからないことや不安も多くありますが、皆様のお力を借りながら微力ですが、頑張りたいと思ひます。



相談支援部

滝本 実和

少しでも皆様のお役に立てますように、微力ではございますが楽しみながら努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



総合支援部

石川 由美

初めて理事をさせていただきます。わからないことばかりですが、頑張りますので、皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

事務局長



岡崎 浩司

雇員



嶋田 喜代子

監事



中島 紫織



野津原 裕



宮崎県介護支援専門員協会組織に 新たな事業部が出来ました



会長挨拶にもございましたが、令和2年度より宮崎県介護支援専門員協会がより機能的・効率的な運用がなされるために組織再編が行われました。今まで5事業部13委員会でしたのが、新たに8事業部17委員会となりました。新たに加わった事業部は、介護支援専門員の倫理や取り巻く環境の調査、協会の新規事業などを主に担当する「調査研究部」、法定研修の企画と実務研修受講試験対策講座を担当する「法定研修部」、介護支援専門員の相談を受け付けたり、ケアマネナビゲーター事業及びナビゲーターの養成・サポートを行う「相談支援部」が新設されました。新たな組織図は、協会のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

宮崎県災害福祉ネットワーク協議会について

近年の災害現場での避難所において、高齢者や障がい者等の災害時要配慮者が、長期間の避難生活を余儀なくされ、必要な支援が行われない場合、生活機能の低下や要介護の重度化など二次被害につながる恐れがあり、避難生活中における福祉ニーズの対応が大きな課題となっています。

そこで、地域避難所におけるよう配慮者の福祉ニーズを的確に対応し、生活機能の低下の防止を図りつつ、1日も早い安定的な日常生活へと移行できるよう、平時において要配慮者への福祉的支援について協議するとともに、発災時に福祉専門職等が連携し、要配慮者への福祉支援を円滑に行うため、宮崎県に宮崎県災害福祉支援ネットワーク協議会が設置されました。

構成団体は、宮崎県、宮崎県社会福祉協議会、宮崎県社会福祉法人経営者協議会、高齢者・障がい者等の事業者団体（7団体）、福祉専門職の団体（6団体）となっております。

宮崎県介護支援専門員協会は、福祉専門職団体の一つとして、令和2年4月15日に宮崎県と基本協定の締結を行いました。

いつ何時に発生するか分からない災害ですが、会員の皆さまが常日頃から構築されている横のつながりが災害でも必ず役立つと期待されています。

宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

令和元年6月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク別	正会員	準会員
延岡・西臼杵	170	1
日向・東臼杵	137	0
西都・児湯	115	0
宮崎・東諸県	608	13
日南・串間	139	1
都城・北諸県	228	3
小林・えびの・西諸県	115	0
鹿児島県	3	0
合計	1515	18

令和元年度の実務者研修受講者は119名で、6月10日現在研修修了者は43名となっています。

これから、新たに研修修了者が数多く輩出されますが、一人でも多くの方が、協会に入会いただくよう、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記

コロナウイルス感染症対策における緊急事態宣言解除をうけ、「新しい生活様式」へ移行している段階ですが、会員の皆さまの周りにはどのように変化しているのでしょうか？テレワークやオンライン会議など、この職種ではなかなか難しいスタイルもありますが、とりあえず引き続き、手洗い・手指消毒、「3密」の回避、毎朝の体温測定、健康チェック、こまめな換気など、自分でできることの継続が大事ななあと考えている今日この頃です。

K.S